ＢＳＯの
情報てんこもり

2022年10月20日号
制作・発行：㈱BSO　支援企画部
TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆９月２１･２２日高松で合同霧研が開催された

参加者全員が３時間ばかり早く来て、海外研修の検討会を自主的に行っていた。

会議の進め方は大分上手になって来た。霧研の会議では多数決で決めることが禁止されている。全員が納得出来る議論にするために悪戦苦闘していた。人を、それも全員を納得させる努力は並大抵でない。

権限も利害関係もない集団で、全員が納得する議論をするには、無手勝流ではダメで、納得できるやり方の技術的な手助けの必要性を実感しているようだ。

意見の食い違う分やその要因の分析の検討や食い違う意見を止揚することなどの必要性を実感するようになってきたのを見ると、ワンステップレベルアップしたようだ。

霧研も大分参加者が増えた。合宿で時間を気にせず、大人数で心置きなくトコトンまで議論し結論を出す経験は、これからの激動時代に協働で生きるのに多分に役立つことになるだろう。

霧研での協働経験は、ビジネスの場面でも相互交流の動きが現れだして来ており、人脈づくりなどにも生かしていくことになるのだろう。

１０月の合同霧研は勉強会前にまた自分たちだけのミーティングを持つという。協働力向上が楽しみだ。

◆地方の時代が始まっている

豊かな自然環境の中での子育てや家族団らんなどを重要視し、さらには個人中心の生活を大切にする世の中になって来た。

産業活動と如何に共存するかを考えた田舎・地方都市が形成されて行く兆しを最近感じる。

◆スポットワーカー７６０万人

リスキリング（学び直し）が言われだしてもう大分経つ。

生活難の増加と相まって、在宅勤務、副業、シェアワーカーなどと合体した、いままでの雇用・就業とは本質的に異なるような「働く」場面が増えている。人事が様変わりし出した。

仕事の質の管理や産業人のやる気、管理職や会社のモチベーションアップなど人事労務管理の抜本的改革が緊急の課題になり、人事戦略のいままでの検討枠を超えた革新が必要になって来ている。

◆分散コミュニティ

人間には社会性が必須である。社会性の象徴的なモノがコミュニティであろう。コロナ騒動では逆に、ヒトにとってコミュニティは必要条件的なモノであることが再確認されたようだ。

いままで集まって行われてきた対面コミュニティは、対面・非対面を含めた色々な方法手段の組み合わせで行われるようになってきているのではないだろうか。

◆「ＩＣＴからＤＸへ」

現代企業に求められている「企業のＤＸ化」もさることながら、現代では事業戦略への取組みの方が重要である。

個客の必要に如何に応えるかが現代企業の必要条件でありデジタル化はその一環としての視点で考えて行きたい。

現代は特に個客や事業の第三の要望に応えることを検討しないと脱落することになりかねない。

◆多様性生活という社会になって来ている現代

近年消費者を捉えて来たライフスタイルも、スタイルという概念で捉えていてはピントが外れるような時代になったようである。

個客の生活の多様性に着眼してライフステージという視点で捉えないと個客の第三の要望は勿論第二の要望や第一の要望にすら応えることが出来ない時代になって来ているのではないだろうか。

これは社会のあらゆる分野で格差が広がっており、貧困富裕といった一次元的な捉え方では個人を捉えることが出来なくなって来ていることも手伝って多種多様な人が、時間的にも場所的にも多種多様な生活を営んでいる。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ http://www.bso.co.jp へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはｓｈｉｅｎｋｉｋａｋｕ@ｂｓｏ．ｃｏ．ｊｐまで）